



新年あけましておめでとうございます



謹賀新年。

昨年中はいろいろとお世話になりました。m(_ _)m。本年もよろしくお祈いします。サブプライム問題が本格化する 2008 年、世界経済も含め、個人的にも何とかいい年になってもらいたいものです。

アサ~~~~~! (笑)



予定では両親と一緒に山中湖畔の旅館で富士山を眺めながら一杯やっているはずなのですが、天気次第ですね。なにはともあれ、**本年もよろしくお祈い申し上げます**。今年の抱負は、出来れば **News Letter は月に 2 回くらいは出す!** と思っていますが、これは努力目標ということで (笑)。

新年初っ端は、前回に引き続き「**ケータイ文化**」を取り上げます。前は主にケータイワールドの広がり、深化の様子をお伝えしました。今回はいよいよその中身をご紹介しますと同時に、今後のマーケティング課題について考察してみたいと思います。



←どうも最近不景気な雰囲気が・・・(T_T)

12 月の中旬に内閣府 が実にタイムリーな調査結果を発表しました。「第五回情報化社会と青少年に関する意識調査」。10 才~29 才の男女約 2500 名に面接調査を行っています。携帯電話からインタ



←女子高生のイメージ (妄想です) (笑)

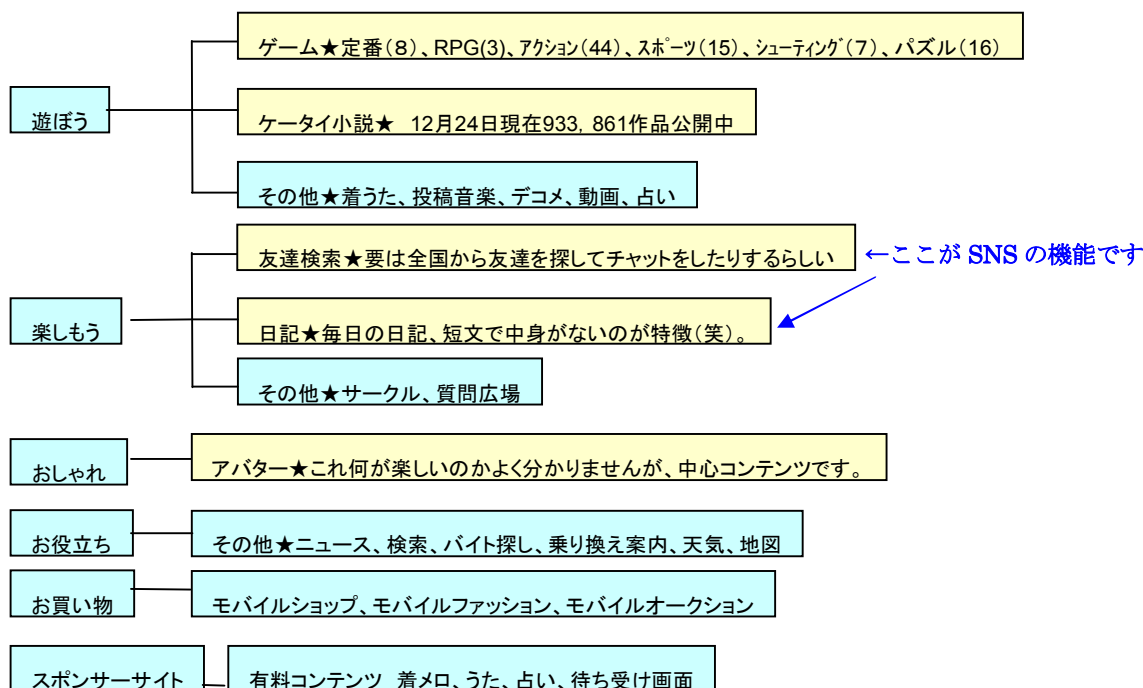
ーネットを使う時間は一日平均、女子中学生 79 分、女子高生 **124 分** と言う結果でした (男子はこれより若干少ない)。なんと一日のうち 2 時間以上をケータイに費やしていることとなります。同様にメールを発信する回数は **一日に 10 回以上が女子高生の 60%** に達しています。この数字は素直に驚いて良いのではないかと思います。**メディア戦争の本質は 24 時間という限りある時間のシェア争いだ**と言えますが、調査結果を見ると他のメディアがそれほど大きな影響を受けている節がありません (テレビは 180 分で最長メディア)。新聞はもともとほとんど読まれていません (10 分以内) (T_T)。どうも時間の間尺が合いません。**ケータイでのインターネット接続は「ながら」**であるというのが仮説です。現に私の息子も、居間でテレビを見ながら何回もメールのやり取りをしています。




ここで質問を一つ、あなたは「**モバゲーのマキさん**」をご存知ですか?モバゲーが無料ゲームサイトであることを知っていたとしても、マキさんを知らないようでは素人ですね。冗談です (笑)。彼女(?)はモバゲーから携帯電話に 3~4 日ごとに送られてくる、メルマガの語り部です。いつも、テキストでしか接することが出来ないで「マキさん」が女性なのか、何歳なのかも不明です。もちろん架空の人物で中高生に親しみを持たせるために友達口調で接するように工夫をされているそうです。

「モバゲーのマキです♪「最愛の君へ」とかイわれたイヨネ☆」なぜ途中から半角になったりカタカナになったりするのかは、全く分かりませんが、中高生にはフレンドリーなのでしょうね(笑)。モバゲー、会員 800 万人を超える無料ゲームサイト、と言う認識はモバゲーのほんの少しの部分しか見ていないことになります。確かにモバゲーのメインコンテンツは「無料ゲーム」なのですが、次々にコンテンツが加わり、現在では「**中高生のポータルサイト**」と行っても過言ではないと思います。モバゲーのトップページから中に入っていくと以下のような構造になっています。黄色地はケータイ

に特有のコンテンツ。ゲームだけだと思っていた、あなた 、認識不足です(笑)。



上記のコンテンツはほとんど無料で楽しむことが出来ます(お買い物とスポンサーサイトは除く)、

ただし、この中だけで通じる通貨が存在します。名づけて「**モバゴールド**」 。まず入会すると 500 ゴールドをもらえます。これで様々なサービスを受けることが出来ます。このゴールドは次の二つの方法によって手に入れることが可能です。**その1、友達をこのサイトに連れてくる**(これは極めてよく出来ている)、超短期間に会員 800 万人達成はこれでしょうね。**その2、スポンサーサイトの有料コンテンツを利用する**とももらえます。つまり上図の「お買い物」や「有料コンテンツ」に登録するごとにもらうことも出来ます。そうして稼いだゴールドをアバターの着替えに使ったりす

るわけです。アバターはご存知ですよね(笑)?  ←これを着せ替えるのがそんなに面白いか^^ ; ?


アバターの語源ですがもともとサンスクリット語の→
「化身」を現す言葉だそうです。



「アバター」って何?と思われた方、かなり遅れています(笑)。こいつです→ 要するにモバゲー**タウンを歩き回る上での自分の分身**です。何が楽しいのかよく分かりませんが、こいつを使って一生懸命着飾って、競い合って、そのためにゴールドをたくさん集めています。これは中高生諸君、DeNA にやられていますね(笑)。コミュニケーションの内容はともかくとして、**非常に優れたビジネスモデル**となっています。


実際に中身を見て見ると、**出会い系?**とも思えるサイトもあります。が、モバゲーではリアルの出会いを禁止しています。実際の写真をアップしたり、メルアドやケータイの番号を教えたりすることはご法



度になっています。DeNA でも巡回監視  をしていて(笑)、こうしたトラブルに結びつきそうなことには相当気を使っているようです。もっとも息子情報によりますと「**抜け道は簡単**、実際に一つバンドを組んだ!」と申しておりました。方法については聞きましたが DeNA さんに敬意を表して書かないことにします。


出会いを求めていると言うよりは、**誰かとつながっている状態**を常に作りたい、というような願望が見てとれます。日記にしても、非常に短文で内容もお粗末なものが多い、これが中高生のレベルだ



としたら、学力だけじゃなくて、**日本の明日はどうなるのだ**、 ?とちょっと心配になってしまいます。ただ、多くの中高生がケータイにはまりまくって、中毒症状のような現象を起こしているかというところではないと考えたい(笑)。要はバランスでしょうね。一日に 120 分もケータイでネットをやっているとすることは、論理的には考えにくいのですが、彼らはおそらく**生活の中のちょっとした隙間**(電車の中、バスの待ち時間、CM の間、寝る前など)を見つけては、そこで生まれる**アイドルングタイム**を**ケータイワールド**で過ごしているのだと思います。

ケータイ・ネットがどちらかというと「**負**」のイメージで語られることが多いのは、初期のころによ



く合った「ケータイ出会い系サイト」 などをめぐるトラブルや犯罪に起因していると思います。でもこれはケータイに限った話ではないし、**PC インターネットの方がよほど危険なサイト**は多いはず。ケータイ小説におバカな側面はあります。でもそれは時代の移り変わりの中で**メディアのハードに合わせてソフトが自然に変化している**だけではないかと思いはじめています。考えて見れば私は今、もうすぐ 40

もちろん白黒真空管式ブラウン管テレビでした。→



代最後の年に突入しようとしていますが、気がついたときから家にはテレビがありました。父



←大リーグって死語になりましたね (笑)

母に散々嘆かれながら少年ジャンプや少年マガジンで育ちました。純文学は読みませんし、俳句・短歌の素養もない。司馬遼太郎さんの著書を読むと、昔の人の教養に驚かされますが、でもそれってやっぱり一部の限られた人ですよ。新しい文化に対する誇りは、世の習いと言う気がしてきたのですが、いかがでしょうか？今は、**全員参加型** (だからレベルは低い)。

モバゲータウンに焦点をしばってレポートをしましたが、もちろん他に個人サイトまで入れると無数のケータイサイトが立ち上がっています。これまではマーケティング上でも無視できる年代だったので



ですが、第一世代はこの春大学を卒業し社会人デビューをします。経済力を持った消費者としてのデビューです。この世代の最大の特徴はインターネットでもパーソナルなことは**ケータイ**。仕事とか学

校のことであれば**PC**とはっきりと住み分けていることでしょう。**決定的に違うのは情報行動**。

先日参加したあるセミナーでは、ケータイを使って十代の女子にお菓子の新発売キャンペーンの事例を聞きました。TVを使わなくても成功した驚くべきキャンペーンでした。詳細をお知りになりたい方は、是非、呼んでください。守秘義務がありますので^^;。ヒントは**既にあるコミュニケーション・ネットワークにただ乗り**したこと。と、ここまで書いたところで大きなニュースが、ドコモがグーグルと提携。事実上の**i-modeの開放**です。これですますケータイ・ネットは自由度を大きくしました。ネットの世界は



←端末もどんどん楽しくなって欲しいですね。

PCからケータイへ。PC世代からは見えない**巨大な情報空間**が姿を現しつつあります。この空間で何が行われていて、何が流行っているのか。マーケットにとって**ケータイワールド**を知らないことは次のマーケティングコミュニケーションのチャンスをつかみ損ねるかも (脅し) (笑)。

今回は新年一発目。ちょっと長くなってしまいましたが、私も初めて触れたケータイワールドでした。それなりに楽しかったのですが、やっぱ、理解不能な部分、多し。**昭和は遠くになりけり(T_T)**を実感しました。今回乗り越えなければならぬ**カルチャーギャップ**はかなり大きい。

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail: ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

(配信を希望されない方は上記メールアドレスまでご連絡をお願いします)